



# ユニバーサルライニングゲージ MS-1500



▲ HP でも詳細を確認できます

## 取扱説明書

この度は、MS-1500: ユニバーサルライニングゲージをお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。正しく、安全にご使用いただくため、作業前に必ず本取扱説明書をお読みいただき、内容を十分にご理解いただいた上で、注意事項を厳守してご使用ください。また、各作業車両ごとにメーカーの整備要領書を用意し、注意事項、基準値、作業ポイントなどは、メーカー指示に従って作業を行ってください。

## 使用上・取扱上の注意

- ※本製品は軽量化、シンプル化を最優先で設計してありますので、取り扱いに十分気を付けてご使用ください。
- ※横ゲージ棒がゲージ固定台に食い込んでしまった時は、木ハンマー等で軽く叩いて出してください。
- ※ご使用後は必ず清掃を行い、防錆油を付けて保管してください。

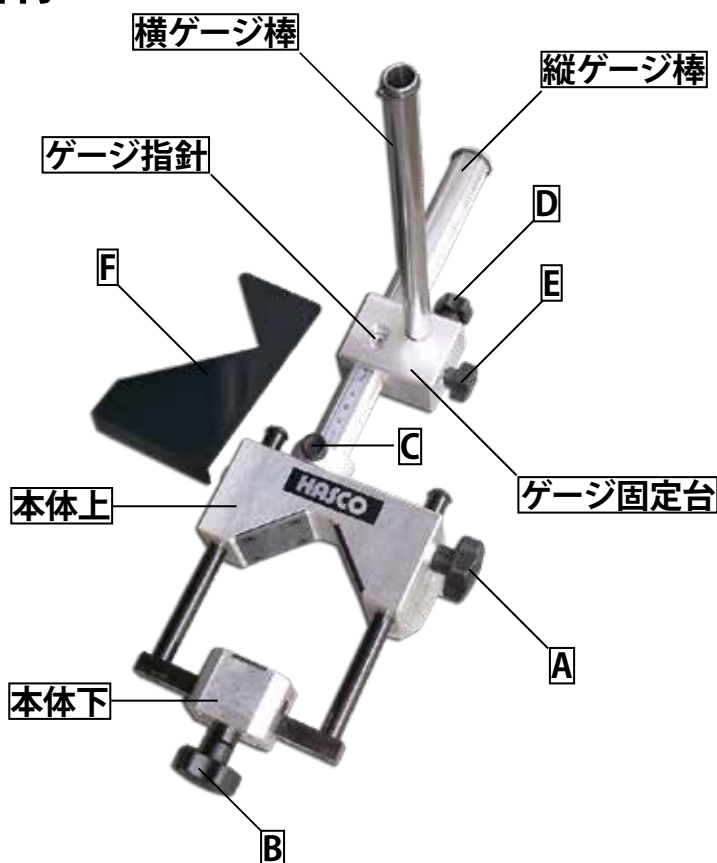
## 使用上のポイント



POINT!

自動調整式ライニングを分解する前に、この MS-1500 でライニングの外径寸法を計測してください。その値を分解整備後再度ライニングを組み立てた時の外径の基準にします。

## 名称



	名称
A	本体固定ノブ
B	本体固定増し締めノブ
C	スケール固定ノブ
D	ゲージ左右固定ノブ
E	ゲージ上下固定ノブ
F	センター出しアタッチメント

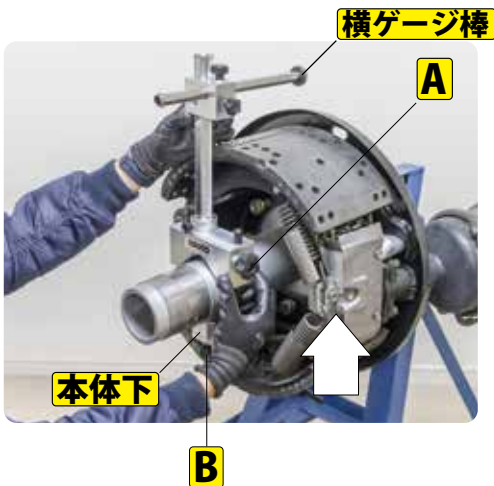
# 使用方法



POINT!

自動調整式ラインングを分解する前に、この MS-1500 でラインングの外径寸法を計測してください。その値を分解整備後再度ラインングを組み立てた時の外径の基準にします。

1



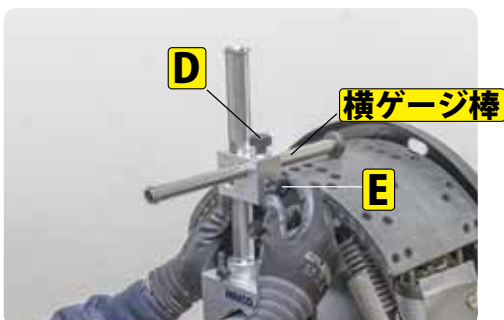
**B 本体固定増し締めノブ**を緩めておき、  
**横ゲージ棒**がラインングに当たらないように  
注意しながらホーシングにセットします。その後**本体下**  
を軽くホーシングに当て、**A 本体固定ノブ**で固定します。

2



**B 本体固定増し締めノブ**を少し締め込み、  
ゆっくりと本体が回転できる所で止めてください。

3



**D ゲージ左右固定ノブ**で**横ゲージ棒**の先端を  
ラインングのセンターへ合わせ、**E ゲージ上下固定ノブ**で  
ラインングの表面に軽く当てて固定します。

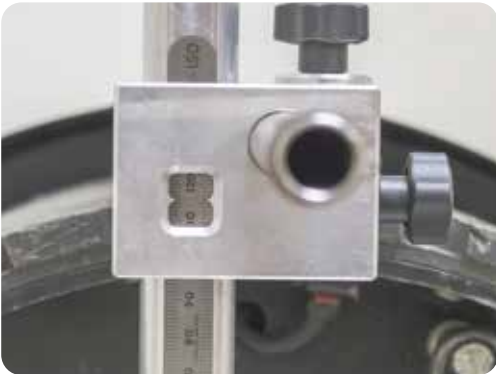
## HASCO MS-1500: ユニバーサルラインイングゲージ

4



ゆっくりとライニングの外周に沿って動かし、一番高い位置の値をメモしてください。

 これで計測は終了です。



**B 本体固定増し締めノブ**、**A 本体固定ノブ**を緩めて本製品を外してください。

分解整備後再度ライニングを組付けた際、再度本製品をセットし、外径値の基準にしてください。



注意

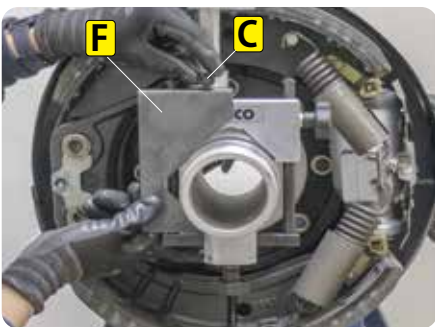
**B, A 以外のノブは緩めないで下さい。**  
このままの位置でライニング組付け時に使います。



POINT!

本来このゲージは、ライニング分解前にその外径寸法を記録しておく為の計測器ですが、万が一計測せずに分解してしまった場合には、下記の要領に基づいて、メーカーの基準値にライニング外径を合わせることができます。

1



左図のように **F センター出しアタッチメント** を使用して、ホーシングのセンターを出します。

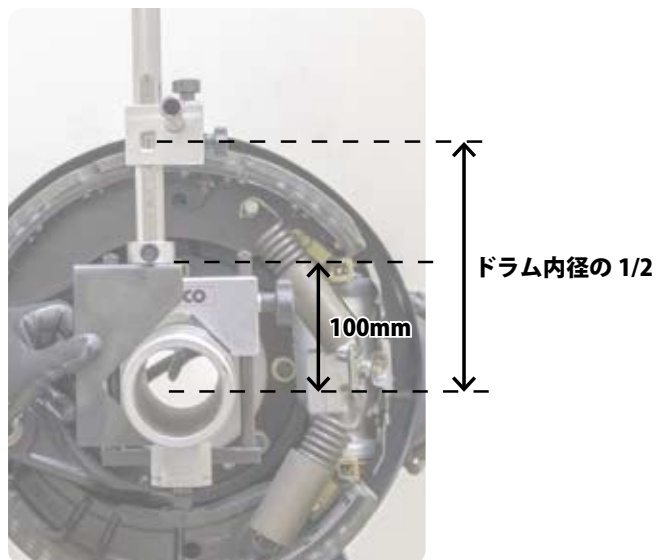
**C スケール固定ノブ** を緩めて、スケール固定リングの底に **F センター出しアタッチメント** の上面を水平にあてがい、その位置でスケール固定リングを固定してください。

スケール固定リング



これでホーシングのセンターからスケール固定リングの底までが 100mm の寸法になっています。

2



国産メーカーの 4t 車～大型車のフロント・リヤドラムブレーキの内径は **410mm、370mm、320mm** のいずれかです。(詳しくはメーカーの整備要領書を参照してください)

上記の直径の 1/2 が半径となりますので、左図を参考に目盛の値を調整してください。

基準値	1/2 の値	目盛の値
410	205	105
370	185	85
320	160	60



少し小さめの値で合わせると良いでしょう。

例) 直径 410mm の場合

